

社会資本総合整備計画 事後評価

平成29年3月
愛知県岡崎市

計画の名称	1 誰も使いやすいにぎわいの交流拠点整備計画															
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）					交付対象	岡崎市（愛知県）									
計画の目標	平成22年2月に策定した東岡崎駅北口駅前広場整備計画に基づき、第1期工事として東改札口の建設を行い、あわせて東岡崎駅前広場、明大寺交通広場の整備をすることによって、第1段階として現況広場内の幅狭する交通の仕分けを図るとともに、駅利用者の不満足の低減に努める。 また、平成22年度に策定する「岡崎市まちなか総合交通戦略」に基づき、「人が主役となるまちなか交通システム」の施策と併せることによって、岡崎市が目指す都市交通の将来像、「公共交通が便利で使やすく、歩行者や自転車が安全に安心して移動できる交通体系の確立」の推進を行う。															
計画の成果目標（定量的指標）																
- 東改札口乗降客数2,100人／日（H27末）を達成 - 駅利用者アンケートによる駅構内移動円滑化、駅へのアクセス性に関する不満率の低下割合がそれぞれ25%以上 - 自転車・歩行者道の整備延長 L=3,300m - 市民アンケート調査による自転車利用の促進意向が25%以上																
定量的指標の定義及び算定式																
① 東岡崎駅の東改札口における1日当たり乗降客数を調査する。 ② 駅利用者アンケートを実施し、不満度の低下を調査し事業の効果の現れを把握する。 ③ 交通戦略で掲げた自転車・歩行者道の整備延長 ④ 市民アンケート調査によって、自転車を以前に増して利用しているまたは利用したいといった意思確認を行う。								定量的指標の現況値及び目標値			備考					
								当初現況値	中間目標値	最終目標値						
								(H23当初)	(H25末)	(H27末)						
								500人／日	1,800人／日	2,100人／日						
								0%	20%	25%						
								0m	1,700m	3,300m						
								0%	20%	25%						
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,079百万円	A	3,054百万円	B	1,025百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.0%						
事後評価																
○事後評価の実施体制、実施時期																
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期										
整備計画の策定主体の所管部署において事後評価を実施						平成29年2月										
						公表の方法										
						岡崎市ホームページ上に公表										
1. 交付対象事業の進捗状況																
交付対象事業																
A1 道路事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27			
1-A-1	交通戦略	一般	岡崎市	直接	岡崎市	都市交通システム整備事業	駅舎及び室内交通広場設置	岡崎市							1,545	
1-A-2	交通戦略	一般	岡崎市	直接	岡崎市	交通広場整備事業（明大寺交通広場）	交通広場 A=2,400㎡	岡崎市							574	
1-A-3	交通戦略	一般	岡崎市	直接	岡崎市	駅前広場整備事業（東岡崎駅前広場）	駅前広場 A=3,000㎡	岡崎市							935	
合計														3,054		
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27			
1-B-1	道路	一般	岡崎市	直接	岡崎市	道路整備事業（市道明大寺川端4号線、上明大寺3号線）	整備延長 L=310m	岡崎市							357	
1-B-2	道路	一般	岡崎市	直接	岡崎市	自転車歩行者空間整備	市道電美丘5号線ほか7路線 道路空間再配分による自転車・歩行者道の整備	岡崎市							668	
合計														1,025		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	
1-B-1	市域北部から東岡崎駅前広場、明大寺交通広場へのアクセス道路であり、駅周辺の交通の分散が図られ駅前の都市計画道路3・4・23号岡崎一色線の混雑を緩和する。															
1-B-2	自転車での東岡崎駅へのアクセス性が高まり、駅端末交通手段の転換を促す。															
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H23	H24	H25	H26	H27			
合計														0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

平成 29 年 3 月 28 日

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・東改札口にエスカレーター等を整備した結果、駅改札口までの移動が円滑化され、駅の利便性が向上した。 ・東岡崎駅前広場、明大寺交通広場の整備が完了しなかったため、駅へのアクセス性が改善されていない。 ・自転車歩行者空間を整備した結果、自転車の通行空間が確保され、歩行者や自転車の安全性が向上した。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（東岡崎駅 の東改札口乗降客数）	最終目標値	2,100人／日	目標値と実績値 に差が出た要因	・円滑に事業が推進できたため、最終目標値を上回って達成した。
		最終実績値	2,471人／日		
	指標②（駅構内 移動円滑化、駅 へのアクセス性 に関する不満率 の低下割合）	最終目標値	25%	目標値と実績値 に差が出た要因	・東改札口の昇降施設の整備により移動の利便性が向上したことや、混雑時に東改札口と中央改札口の2改札口で分担できるようになったため、利用者の不満度の低下につながり、最終目標値を上回って達成した。
		最終実績値	36.5%		
	指標③（自転 車・歩行者道の 整備延長）	最終目標値	3,300m	目標値と実績値 に差が出た要因	—
		最終実績値	3,300m		
	指標④（自転車の 利用促進意向 割合）	最終目標値	25%	目標値と実績値 に差が出た要因	・狭い歩道幅員でありながらも自転車利用がある道路の改善により、自転車利用者の利用しやすさが向上したため、最終目標値を上回って達成した。
		最終実績値	45.5%		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					
3. 特記事項（今後の方針等）					
今後も引き続き駅前広場、交通広場の整備を進め、駅の利便性の向上を図り、乙川リバーフロント地区整備計画と連携した駅周辺のにぎわい創出に寄与する。					

(参考様式3) (参考図面) 市街地整備

